

【認知症対応型共同生活介護用】

1. 評価報告概要表

作成日 平成21年8月31日

【評価実施概要】

事業所番号	0570714295
法人名	有限会社 桂
事業所名	グループホーム かつら
所在地	秋田県湯沢市皆瀬字桂沢66番地 (電話)0183-58-5775
評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団
所在地	秋田市御所野下堤5丁目1番地の1
訪問調査日	平成21年8月25日

【情報提供票より】(平成21年8月21日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年3月30日
ユニット数	1ユニット 利用定員数計 9人
職員数	9人 常勤8人, 非常勤1人, 常勤換算7.7人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り
	1階建ての ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000円	その他の経費(月額)	0円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300円	昼食	350円
	夕食	350円	おやつ	0円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(平成21年8月25日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	1	要介護2	5		
要介護3	3	要介護4	0		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 83.4歳	最低	73歳	最高	92歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	湯沢市立皆瀬診療所 新山歯科医院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は小安温泉郷の一角に位置し、自然に恵まれ四季折々の風情が楽しめる。民宿をリフォームした1ユニットの事業所は、昔ながらの梁や柱をうまく活用し、落ち着いた雰囲気をかもしだしている。また共有空間にはテーブルを配置した個所、畳敷きの個所、ソファの個所などを設け、利用者が思い思いに過ごせるよう配慮されている。ホームのモットーを、「決まり事の無いケア」「地域との交流を大事に」「入居者が日々楽しく過ごせる事」とし、様々な工夫をしながら日常の生活支援がなされている。掃除や畑作業など、利用者一人ひとりが役割を持てる場面を日常的に作っている。特に食事準備では山菜料理や下ごしらえなどについて、職員が入居者から指導を受けながら一緒に作業をしている。所長は人材育成の意義を重要と考えており、職員の希望する各種研修への参加を進め、職員全体への伝達を行いながらサービスの質の向上に積極的に取り組んでいる。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価の改善課題として挙げられた「書類に確認欄を設ける」「介護計画に関わる記録」等については改善されていることが確認できた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員が外部評価の意義について十分理解し、真摯に受け止め改善に努めている。また自己評価では職員全員が協議しながら作成しているが、管理者はまだ完全で無い部分の改善方策について、改善の意識を持って取り組んでいた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	会議は2カ月に1回開催されている。委員からの意見等がなかなか出づらいつつも、会議ではホームの活動状況を紹介し、委員の方々との意見交換を行いながらよりよい運営やサービスに繋げている。また、必要に応じて市との連携を図っているが、現在はむしろ家族、医療機関との連携によりサービスの向上を図っている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	写真やホーム便りを月1回送付し、事業所での利用者の生活状況を知らせている。苦情、希望などについては、家族へアンケート調査を実施したり、事務所に意見箱を設置している。現在は事業所のブログを開設し、日々更新しながら投稿を期待している。現在家族の意見、苦情、不安などは出ないが、職員全員で対応する体制はできている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	事業所周辺の散歩やスーパーへの買い物の際に地域住民と声を掛け合うほか、地域のお祭りに合わせて事業所でイベントを開催し、参加を呼びかけるなど、地域との関わり深める努力がなされている。

2. 評 価 報 告 書

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1.理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員は、利用者が決まり事の無い自由で家庭的な雰囲気の中で、自分らしく暮らせるよう常に心掛けている。特に今年は地域との交流を主題に掲げ、携帯電話とパソコンからアクセスできる事業所のブログを立ち上げ、地域、家族、福祉事務所に周知した。また、地域密着型サービスの意義についても、職員全員で確認している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ブログは全職員が担当し、最新情報を随時提供している。このブログ作成を通じ、職員間で理念の共有と確認を行っている。		
2.地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所周辺の散歩の途中、近所の牛乳屋さんに立ち寄って牛乳をいただいたり、利用者の希望によりスーパーに出掛けたりと、日常的に地域住民と声を掛け合う場面を作り出している。また3月には地域のお祭りがあり、それに合わせて事業所内でイベントを行うなど、交流を深めている。		
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の意義は所長、管理者、職員すべてが理解し必要性も感じている。また、外部評価の結果を基に、職員が勉強会を開き、自分たちのケアの見直しや確認をしながら具体的な改善策を話し合っている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回、会議を行っている。委員からの意見等がなかなか出づらい状況もあるが、事業所の状況を説明した上でアドバイスを受けている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>必要に応じ市担当者と連携を図っているが、事業を継続していく中で行政との確認事項は少なくなってきた。家族と医療機関との連携に更に努めており、サービスの向上に繋げている。</p>		
<p>4.理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>家族とは随時連絡を取っているほか、毎月の請求書送付の際、写真やホーム便りなどで利用者の日々の暮らしぶりを知らせている。請求書は、面会を兼ねながら家族に原則持参していただく事とし、来所した際は日常の様子や健康状態を詳しく伝えている。また、伝えた内容は記録に残している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>事務室前に意見箱を設置しているほか、家族から意見や苦情のアンケート調査を行っている。意見等はなかなか出にくい状況であるが、事業所としていつでも意見、要望等に対応する体制を作っている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者・家族への説明を十分行い、利用に際しての不安が軽減されるよう配慮している。また、職員を採用した際は、利用者との信頼関係ができるまでゆっくり丁寧に対応するように事業所として配慮している。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職階に応じた研修計画は立てていないが、職員が希望する研修等には積極的に参加できる態勢にある。またホーム独自の「能力考課表」により年2回の自己評価を行うなど、職員全員のレベルアップに努めている。研修の内容は職員会議などで周知されているが、その記録が残されていない。</p>		<p>研修内容や職員会議の内容にはホームのサービス向上のための重要な内容が含まれていることから、今後は研修、会議等の内容を記録として残していくことが望まれる。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市町村のグループホーム連絡会に参加している。協議した事項を、事業所のサービスの質の向上に活かせるよう努めている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者が無理せず気ままに生活できるよう、サービスの開始にあたっては、本人や家族と相談しながらケアプラン作成に当たっている。また、職員は日々の会話やしぐさの中から利用者が何を求めているかを判断し、日誌に書き留めるなど、さまざまな工夫を通じて利用者の情報を共有するよう努めている。</p>		
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>「利用者から信頼される職員」を事業所のモットーにしており、実際に利用者とはよくコミュニケーションを取っている事が視察時にも確認できた。また、山菜の調理方法などを教えてもらう機会を日常的に設けているなど、日々利用者のペースに合わせた、楽しい事業所作りに努めている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者から積極的に希望や意向が出ることは少ないが、職員は常時利用者の状況把握に努め、できる限り外出の機会を作るなど、意向を把握するよう努めている。帰宅願望の強い利用者については、家族との調整が困難な場合もあり、利用者の希望の実現等に当たっては苦慮している状況も伺えた。</p>		
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>アセスメントに基づき、利用者・家族の希望や思いを取り入れた介護計画を作成している。状況に大きな変化の無い利用者も多いが、職員が日々の観察から「日常生活動作状況」を作成し、職員全員で意見交換やカンファレンスを行っている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>状況に大きな変化の無い利用者が多いことから、介護計画の見直しは1年を基本としている。日々の行動観察や状況把握を行い、必要に応じて見直しを行っているが、職員カンファレンスの記録が残されていない。</p>		<p>現在は比較的介護度の低い利用者が多く、介護計画書の大幅な変更の必要性が無い状況であるが、今後は利用者支援に関わる職員会議、カンファレンス等について、その内容を記録していくことが望まれる。</p>
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人・家族の状況に応じた対応を行っている。医療機関への送迎・受診、外食、買い物など、必要な支援には柔軟に対応し、利用者個々の満足度を高める支援を行っている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用契約時に本人・家族の希望するかかりつけ医を確認し、ケース記録に残している。定期的に受診しているほか、月に1回協力医療機関の往診が行われ、適切な医療を受けられるように支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用契約時、医療連携体制を示し十分な説明を行っている。又、事業所として終末期のサービスについては対応していないことも説明し、家族からの理解も得ている。		
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1.その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーの保護については、所長から職員へ回覧による通達を出し、全員が閲覧している。また所長、管理者は日々職員の言動に注意しながらその都度確認しあっている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課は特に設けていない。起床・食事・排泄・入浴等個々の生活リズム・ペースに合わせた対応をし、楽しく1日が過ごせるよう支援している。居室には入居前に使用していた家具、ベッドなどが置かれ、亡くなった夫の写真をかざっている方もおられた。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>日常の会話の中で好みの物を聞き、献立に取り入れている。テーブル拭きや食器拭きなどの役割分担が自然にできており、利用者が自主的に食事場面への関わりを持てるよう配慮している。職員も一緒に食事を摂り、さりげなく食事を楽しむことのできる支援を行っている。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しむように支援している</p>	<p>週2～3回の入浴となっているが希望があれば毎日でも対応できる体制にある。入浴を好まれない利用者には、日時を変更しながら個別に対応していることがケース記録から確認できた。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>利用者が自分のペースでゆったり、楽しく過ごせるように配慮しているが、諸作業や外出の希望等について、利用者からの意思表示を引き出すことに苦慮している様子も伺われた。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>事業所の庭にはベンチ等が設置されている。外出の希望は多くはないが、職員は極力散歩やドライブ、外食等へ誘いながら戸外に出かけられるよう支援している。今後、利用者の家族と一緒に「大森山動物園」へ出かける計画を立てている。</p>		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている</p>	<p>職員が利用者の動きや居場所の把握に努め、鍵をかけないケアを実践している。各居室に鍵は無く、夜の時間帯のみ玄関に施錠している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回(日中1回、夜間1回の想定)火災や地震を想定した避難訓練を利用者と一緒に行っている。また隣家にも協力を依頼するなど、地域との連絡、協力態勢がとれている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>個別管理票(健康状態・食事・排泄・水分・薬等を記録)を用いて職員が状況を毎日把握している。栄養士はいないが、利用者の状況により、かかりつけ医の指導を受けながら支援している。</p>		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホールには食卓用の椅子とテーブルの他、ソファや畳敷きのスペース、テレビ等を備え、好きな所でくつろげるようになっている。玄関前にも椅子とテーブルが設置され、草花を眺めながらおしゃべりやお茶を楽しむことができる。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は明るく、写真や手芸品、使い慣れたベッドや椅子など、本人や家族が希望する物が持ち込まれ、利用者が居心地よく過ごせるよう配慮している。</p>		

は、重点項目。